

大野市では、令和6年(2024年)4月に、上庄中学校と開成中学校、和泉中学校・尚徳中学校・陽明中学校を統合し、新開成中学校と新陽明中学校となります。このおたよりは、学校再編準備委員会で協議された概要や、再編に向けた情報について、保護者の皆さまと市民の皆さまにお知らせします。

## 第2回学校再編準備委員会開催



これまで各部会で重ねてきた協議結果について、11月8日(火)に合同で開催された第2回学校再編準備委員会に報告されました。各報告内容については、承認が得られ、学校再編準備委員会の決定事項として、今後準備が進んでいきます。新開成中学校再編準備委員会と新陽明中学校再編準備委員会を合同で開催することで、お互いの協議の進捗が確認され、足並みを揃える形で進めることができます。

## 各部会からの主な報告と承認された事項

### <総務部会報告>

#### ●新開成中学校

##### ○報告された部会での主な意見

- ・地区と学校が連携し、地区行事や学校行事の開催日をできるだけ早い段階で情報共有して中学生が参加しやすいようにしていく。
- ・学校の歴史を振り返り記憶に残す統合事業については、上庄地区は実施する方向で進めていく。
- ・学校跡地、空き校舎の有効活用については、地区、市、市教委と協議しながら有効活用について検討していく。
- ・閉校式は、市及び市教委主催で令和6年3月に行う。

##### ○承認された事項

- ①中学生の参加が必要な行事を取捨選択し、関係機関との情報共有を早めに行い、中学生が参加しやすい環境をつくる。
- ②統合事業については、地区の意向を尊重し、準備委員会は実施校区に協力する。
- ③学校跡地、空き校舎の有効活用については、準備委員会は関係地区、市、市教委との協議に協力する。

#### ●新陽明中学校

##### ○報告された部会での主な意見

- ・地区と学校が連携し、地区行事や学校行事の開催日をできるだけ早い段階で情報共有して中学生が参加しやすいようにしていく。
- ・学校の歴史を振り返り記憶に残す統合事業については、尚徳中校区は、実施の有無について年内を目途に各地区で協議していく。和泉中校区は実施しない方向である。
- ・学校跡地、空き校舎の有効活用については地区、市、市教委と協議しながら有効活用について検討していく。
- ・閉校式は、市及び市教委主催で令和6年3月に行う。

### ○承認された事項

- ①中学生の参加が必要な行事を取捨選択し、関係機関との情報共有を早めに行い、中学生が参加しやすい環境をつくる。
- ②統合事業については、地区の意向を尊重し、準備委員会は実施校区に協力する。
- ③学校跡地、空き校舎の有効活用については、準備委員会は関係地区、市、市教委との協議に協力する。

### <PTA部会(合同)>

#### ○報告された部会での主な意見

- ・新開成中、新陽明中 PTA の規約や会費、活動内容などの在り方については、各 PTA 間で話し合いを進める。
- ・令和6年度の制服、体操服について、まずは体操服の方針から検討していく。
- ・体操服について、1年生から3年生まで運動に適した服装とする。体操服の指定を行わず、ある程度のルールの中で自由に購入する。
- ・1年生は新しいデザインの体操服とし、2年生と3年生については今後検討していく。
- ・今後は、両部会間の調整方法、制服と体操服の選定方法、選定スケジュールなどについて協議を進める。

#### ○承認された事項

- ①新開成中、新陽明中のPTA部会規約や会費、活動内容などは各PTA間で調整する。
- ②令和6年度の制服、体操服については、体操服の方針から決定していく。

### <学校運営部会(合同)>

#### ○報告された部会での主な意見

- ・現小学校6年生保護者対象に再編に関する説明会を令和4年12月末までに実施する。
- ・事前交流を、令和4年度2学期以降1回以上行う。部活動の交流も必要な部から行う。

#### ■事前交流の予定(日程などが決定しているもの)

11月11日 尚徳中1年生、和泉中1年生と陽明中1年生

11月22日 上庄中1年生と開成中1年生

- ・部活動の交流は、必要な部から交流が行われているので、今後も合同チームでの練習やコンクールや各種大会、合同練習などを通して、事前の交流が行われる。



#### ○承認された事項

- ①現小学校6年生保護者対象の再編説明会を実施する。
- ②事前交流を令和4年度から進める。
- ③学校運営の詳細については、学校間の打ち合わせで決めていく。

### <通学安全部会>

#### ●新開成中学校

#### ○報告された部会での主な意見

- ・乗車の対象生徒は上庄中、尚徳中、和泉中校区の生徒とする。
- ・停留所は自宅から1.5Km以内で設定する。
- ・乗車時間は40分程度までとし、通学時間が1時間以内を目途とする。
- ・運行便数は授業日は登校便1便、下校便2便とする。長期休業中は、午前往復1便、午後往復1便とする。土、日、祝日の運行はしない。

・ルート数は3本(上庄中校区3本)とする。

・今後のルートの検討、冬季の運行、停留場所、通学路の安全確保について協議を進める。

・検討中のルート案は、次のとおり。

<案1>

①佐開～五条方～東山～友兼～開発～森政領家～開成中

②今井～平澤～西山～稲郷～上据～森政地頭～医王寺～吉～開成中 ③木本～榎～中据～下据～開成中

<案2>

①佐開～五条方～稲郷～上据～中据～下据～開成中 ②平澤～西山～木本～榎～開成中

③東山～友兼～開発～森政地頭～医王寺～森政領家～吉～開成中

#### ○承認された事項

①スクールバスの運行基準を、次のとおりとする。

対象生徒：上庄中、尚徳中、和泉中校区の生徒 停留所：自宅から1.5Km以内で設定

乗車時間：40分程度までとし、通学時間が1時間以内を目途とする

運行便数：授業日は登校便1便、下校便2便とする。長期休業中は、午前往復1便、午後往復1便とする。土、日、祝日の運行はしない。

②スクールバス運行本数：上庄中校区は3本を基本とする。

#### ●新陽明中学校

##### ○報告された部会での主な意見

・乗車の対象生徒は上庄中、尚徳中、和泉中校区の生徒とする。

・停留所は自宅から1.5Km以内で設定する。

・乗車時間は40分程度までとし、通学時間が1時間以内を目途とする。

・運行便数は授業日は登校便1便、下校便2便とする。長期休業中は、午前往復1便、午後往復1便とする。土、日、祝日の運行はしない。

・ルート数は5本(尚徳中校区4本、和泉中校区1本)とする。

・今後のルートの検討、冬季の運行、停留場所、通学路の安全確保について協議を進める。

・検討中のルート案は、次のとおり。

①六呂師～橋爪～伏石～松丸～川嶋～陽明中

②蕨生～塚原～井ノ口～田野～陽明中

③八町～柿ヶ嶋～下唯野～七板～富嶋～森目～陽明中

④上野～下麻生嶋～陽明中

⑤後野～朝日～九頭竜IC～陽明中

#### ○承認された事項

①スクールバスの運行基準を次の通りとする。

対象生徒：上庄中、尚徳中、和泉中校区の生徒 停留所：自宅から1.5Km以内で設定

乗車時間：40分程度までとし、通学時間が1時間以内を目途とする

運行便数：授業日は登校便1便、下校便2便とする。長期休業中は、午前往復1便、午後往復1便とする。土、日、祝日の運行はしない。

②スクールバス運行本数：尚徳中校区は4本、和泉中校区は1本を基本とする。ただし、和泉中校区については、公共交通網の見直しに合わせ、市営バスの活用も検討する。

## 事前交流が行われる

事前交流として、新陽明中校区の1年生が、11月11日（金）に陽明中学校に集まりました。Eco落語を聴いたあとに、グループに分かれ「中学生エコ宣言」づくりに取り組みました。生徒の主体的な運営で進められ、グループに分かれて意見を出し合い、全体で共有する形で交流を深めていきました。また、新開成中校区の1年生が、11月22日（火）に開成中学校に集まりました。開成中学校の生徒会役員の1年生と学年委員が中心となって「互いに知り合おう。名前を覚えよう。」というテーマで企画が行われました。生徒たちはゲームやステージ発表をとおして触れ合っていました。3学期以降も、事前交流が行われる予定です。

【陽明中学校での交流の様子】



【開成中学校での交流の様子】



## 保護者対象再編説明会

12月4日（日）に教育委員会主催で現小学校5年生と6年生保護者対象の再編説明会を学びの里「めいりん」で開催しました。スクールバスの運行や学用品、事前交流などについて説明を行いました。各中学校の校長先生、教頭先生も参加してくださいました。また、会場に足を運ばない保護者の方へのライブ配信を行い、視聴された方もいらっしゃいました。保護者の方からはスクールバスの運行ルート、学用品、部活動などについての質問が出されました。今後も便りやホームページを通して、再編についての情報を発信し、生徒の皆さまや保護者の皆さまの不安を少しでも解消できるように努めてまいります。

## 校舎改修工事計画について

教育委員会では、小中学校再編計画及び小中学校施設管理計画に基づき、令和5年度から下庄小学校、開成中学校及び陽明中学校の長寿命化等の大規模改修工事を計画しており、令和4年度は3校の実施設計業務に取り組んでいます。現在、教育委員会では、教職員を対象としてワークショップなどを開催し、各学校の教職員や児童生徒の意見を取りまとめており、令和5年度の大規模改修工事に向けて実施設計業務に取り組んでいます。